

宜基渉第23号
平成26年12月24日

沖縄防衛局長
井上 一徳 殿

宜野湾市長 佐喜眞 淳

米軍機の夜間飛行自粛及び、年末・年始における普天間飛行場周辺での飛行訓練の自粛について（抗議・要請）

貴職におかれましては、本市における基地問題の解決のため、平素より格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

普天間飛行場は SACO 合意から 18 年、沖縄国際大学へのヘリ墜落事故から 10 年が経過した今なお、本市のど真ん中に存在し続け、市民は墜落の危険性や、騒音をはじめとする基地負担を強いられております。

夜間騒音については、市民生活へ与える影響が特に大きいことから「普天間飛行場負担軽減推進会議」等において改善を強く求めておりますが、12月17日の夜10時50分に上大謝名地区において94.9dBの騒音が記録されるなど、先週は14件の苦情が集中的に寄せられており、市民に大きな負担を与え大変遺憾であります。

また、航空機騒音に関しては、「普天間飛行場における航空機騒音規制措置」において、「周辺地域社会にとって特別意義のある日については、訓練飛行を最小限にするよう配慮することになっております。

これから新年を迎えるにあたり、厳かに過ごすべき年末年始が、米軍機の訓練に伴う騒音によって影響を受けることがあってはなりません。

つきましては、下記事項を米軍へ申し入れしていただくよう強く要請いたします。

記

- ・市民生活へ深刻な影響を及ぼしている米軍機による夜間飛行について、厳重に抗議するとともに、米軍に夜間飛行の中止を申し入れること
- ・正月三が日を含む年末・年始の、普天間飛行場における飛行訓練及びエンジン調整の自粛を強く申し入れること